

# 認 定 書

国住指第 2467 号  
平成 29 年 11 月 9 日

マグ・イゾベール株式会社  
代表取締役社長 フランシス・ショレー 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第九号及び同法施行令第 108 条の 2 第一号から第三号まで（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
NM-4596(1)
2. 認定をした構造方法等の名称  
ポリエチレン樹脂系フィルム張／ポリエステル樹脂混入グラスウールフェルト
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 材料名

ポリエチレン樹脂系フィルム張/ポリエステル樹脂混入グラスウールフェルト

## 2. 形状及び寸法等

項目	仕様
形状	平板
表面形状	平滑
厚さ(mm)	50 <sub>-0,+5</sub> ~215 <sub>-0,+21.5</sub>
質量(g/m <sup>2</sup> )	800.0 <sub>±100.0</sub> ~ 3787.0 <sub>±317.2</sub>

## 3. 材料構成

項目	仕様
表面材	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) ポリエチレン樹脂系フィルム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚さ 20.0<sub>±3.0</sub>μm~50.0<sub>±6.0</sub>μm</li> <li>・質量 24.0<sub>±2.9</sub>g/m<sup>2</sup>~52.5<sub>±5.7</sub>g/m<sup>2</sup> (有機質量 52.5<sub>±5.7</sub>g/m<sup>2</sup>以下)</li> <li>・構成 <ul style="list-style-type: none"> <li>[1] ポリエチレン樹脂系フィルム <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚さ 20.0<sub>±3.0</sub>μm~50.0<sub>±6.0</sub>μm</li> <li>・質量 19.0<sub>±2.9</sub>g/m<sup>2</sup>~47.5<sub>±5.7</sub>g/m<sup>2</sup> (有機質量 47.5<sub>±5.7</sub>g/m<sup>2</sup>以下)</li> <li>・組成 (質量%) <ul style="list-style-type: none"> <li>〔ポリエチレン系樹脂……………97<sub>±2</sub></li> <li>〔無機質系添加剤……………3<sub>±2</sub></li> </ul> </li> </ul> </li> <li>[2] 印刷インキ：アクリル系樹脂 <ul style="list-style-type: none"> <li>・質量 5.0g/m<sup>2</sup> (固形量) 以下 (有機質量 5.0 g/m<sup>2</sup>以下)</li> <li>・組成 (質量%) <ul style="list-style-type: none"> <li>〔アクリル系樹脂……………83<sub>±2</sub>~100</li> <li>〔無機質系顔料……………0~17<sub>±2</sub></li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>(2) なし (裏面材が(1)の場合に限る)</p>
表面接着剤	<p>(1)~(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 合成ゴム系</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質量 1.0<sub>±0.1</sub> g/m<sup>2</sup> (固形量) ~5.0<sub>±0.5</sub> g/m<sup>2</sup> (固形量) (有機質量 5.0<sub>±0.5</sub>g/m<sup>2</sup>以下)</li> <li>・組成 (質量%) <ul style="list-style-type: none"> <li>〔熱可塑性ゴム (スチレン系ブロック共重合物) ……10~30</li> <li>〔ロジンエステル樹脂……………20~40</li> <li>〔石油系炭化水素樹脂……………10~30</li> <li>〔ポリブテン……………0~10</li> <li>〔鉱油……………15~35</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) ポリオレフィン系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質量 1.0<sub>±0.1</sub> g/m<sup>2</sup> (固形量) ~5.5<sub>±0.5</sub> g/m<sup>2</sup> (固形量) (有機質量 5.5<sub>±0.5</sub>g/m<sup>2</sup>以下)</li> <li>〔オレフィン系樹脂 (ポリプロピレン系共重合体) ……85<sub>±3</sub></li> <li>〔鉱油……………15<sub>±3</sub></li> </ul>

項 目	仕 様
表面接着剤 (つづき)	(3) ポリオレフィン系樹脂 ・質量 $1.0_{\pm 0.1} \text{ g/m}^2$ (固形量) $\sim 4.5_{\pm 0.5} \text{ g/m}^2$ (固形量) (有機質量 $4.5_{\pm 0.5} \text{ g/m}^2$ 以下) ・組成 (質量%) { オレフィン系樹脂 (ポリプロピレン系共重合体) ..... 80~90 鉱油 ..... 10~20 (4) なし
基 材	ポリエステル樹脂混入グラスウールフェルト (JIS A 9521) ・厚さ $50_{-0, +5} \text{ mm} \sim 215_{-0, +21.5} \text{ mm}$ ・質量 $800_{\pm 100.0} \text{ g/m}^2 \sim 3720_{\pm 310.0} \text{ g/m}^2$ (有機質量 $364.6_{\pm 30.38} \text{ g/m}^2$ 以下) ・密度 $16_{\pm 2} \text{ kg/m}^3 \sim 24_{\pm 2} \text{ kg/m}^3$ ・組成 (質量%) { ガラス繊維 ..... 90.2 以上 ポリエステル樹脂 (糖アルコールと多価カルボン酸の重縮合体) ..... 9.8 以下
裏 面 材	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) ポリエチレン樹脂系フィルム ・厚さ $10.0_{\pm 1.0} \mu\text{m}$ ・質量 $9.5_{\pm 1.0} \text{ g/m}^2$ (有機質量 $9.5_{\pm 1.0} \text{ g/m}^2$ 以下) ・組成 (質量%) { ポリエチレン系樹脂 ..... 97.0~99.3 有機質系添加剤 (銅フタロシアニン系顔料等) ..... 0.2~1.0 無機質系添加剤 (二酸化チタン等) ..... 0.5~2.0 (2) なし (表面材が(1)の場合に限る)

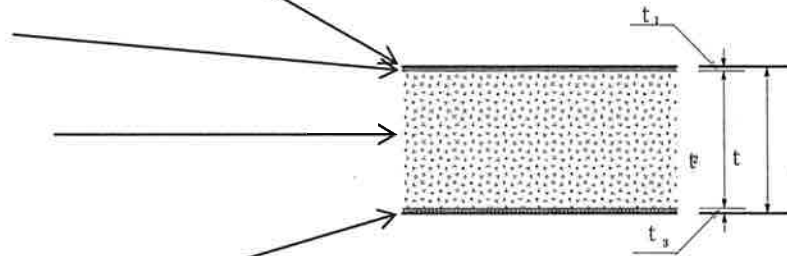
#### 4. 構造説明図 (寸法単位 : mm)

1) 表面材…ポリエチレン樹脂系フィルム又はなし

2) 表面接着剤…合成樹脂又はなし

3) 基 材…ポリエステル樹脂混入  
グラスウールフェルト

4) 裏面材…ポリエチレン樹脂系フィルム又はなし



$t_1 = 0.020 \sim 0.050$  又はなし

$t_2 = 50 \sim 215$

$t_3 = 0.010$  又はなし

$t = 50 \sim 215$

#### 5. 注意事項

本仕様を施工するに当たっては、所定の防火性能が損なわれないように、材料端部及び目地部の処理を適切に行う必要がある。